

第7期瀬戸市高齢者福祉計画・介護保険事業計画 評価書（令和2年度上半期）

(3) 認知症施策の推進

評価項目	分野	年間目標値	上半期実績値	達成度
1. 認知症に関する知識の普及・啓発				
⑦認知症サポーター養成講座に参加した市民の数（人） ※累計値	介護 地域	5,280	5,138	B
		開催回数や方法を工夫し感染症対策を講じながら実施することができた。		
2. 家族介護への支援				
⑧介護休暇制度を実施している事業所数（件） ※累計値	介護	未設定	157	A
		目標設定当初未設定となっていたが、市内事業所向けアンケートの実施で市内の介護休暇等の実態を把握できた。		
⑨認知症家族支援プログラムの受講者数 ※隔年実施事業（人） ※累計値	介護	17	8	C
		周知方法を工夫したが新規受講者数は伸び悩んだ。		
⑩認知症介護家族交流会の実施回数（回） ※年間合計	介護	12	4	B
		感染症対策で開催を中断していた期間があったが、その後開催方法を工夫し感染症対策を講じながら実施することができた。		
⑪ひとり歩き高齢者家族支援のサービス新規利用者数（人） ※年間合計	介護 住まい	30	36	A
		瀬戸警察署と連携し、必要な方に案内が行き届く工夫ができた。		
⑫認知症カフェ登録事業者（ヶ所） ※平成28年10月事業開始 ※累計値	介護	11	11	A
		周知方法の工夫や新規事業者登録へのアプローチを行うことができた。		

（次頁へ続く）

3. 権利擁護の促進				
評価項目	分野	年間目標値	上半期実績値	達成度
⑬ 成年後見制度の普及啓発事業の開催数（回） ※年間合計	介護 住まい	6	3	A
		感染症対策で開催を中断していた期間があったが、その後開催方法や周知方法を工夫し事業の実施ができた。		
⑭ 市民後見人として登録している市民の数（人） ※累計値	介護 住まい 地域	9	7	A
		研修開催の周知などを積極的に行い、新規登録者数の増加に努めた。		
⑮ 消費生活出前講座実施件数（件） ※年間合計	住まい	5	0	C
		感染症対策で今年度の開催を中止することとし、新しい生活様式での実施方法について検討中。		
4. 認知症初期集中支援チームの推進				
⑯ 認知症初期集中支援チームのチーム員会議開催数（回） ※年間合計	介護	24	5	B
		感染症対策で開催を中断していた期間があったが、その後開催方法を工夫し事業の実施ができた。		
5. 認知症地域支援推進員の配置				
⑰ 認知症地域支援推進員の配置人数（人） ※累計値	介護	3	3	A
		瀬戸旭医師会と社会福祉協議会に必要な人数を適切に配置することができた。		

- A 達成できた
- B おおむね達成できた
- C あまり達成できなかった
- D 達成できなかった

総合評価
B

（次頁へ続く）

担当部署評価

多くの項目において安定した事業実施ができているため、引き続き取り組みを進めてほしい。家族介護への支援及び権利擁護の促進については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対応により通常どおりの実施ができない事業があるため、新しい生活様式の中での支援方法等の検討が必要。

評価委員会評価

各事業上半期の実施内容について議論し、総合評価をBとした。

新型コロナウイルス感染症対策を講じる中で、(1)でもあったように専門職の会議等を今後Web会議で実施できるような支援方法を検討する必要があるのではないか。